



第 71 号

発行人  
福 井 県 剣 道 連 盟  
理事長 河 越 純 二

事務局  
〒910-0015 福井市二の宮2-3-7  
榎マルツ電波二の宮店 付属舎  
TEL・FAX (0776)28-6616  
メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

# ご挨拶



福井県剣道連盟  
会長 岩崎 貞夫

この度、土谷前会長の御辞職により、その後任として会長の重責を担うことになりました。三年前に土谷前会長のた岩崎でございます。三年前に土谷前会長の御推挙で副会長を拝命しました時には、私が土谷会長の手助けを出来るだろうかと不安な気持ちで一杯でした。何とか副会長の職を汚さないようにと思いい、土谷前会長に従い県剣道連盟の改革に微力ながら尽力して参りました。去る三月二十日に開催されました平成二十二年度末の理事会・評議員会に於いて、土谷前会長が御辞意を表明され、その辞職に伴い私ごとが会長の職を継ぐことになりました。立派な業績をお残しになった土谷前会長の後任として、浅学非才の身ではございますが、職務の重要性を深く認識し、責務の全うに全力を傾注いたします所存でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

さて、私と剣道との出会いは、高等学校に入学した時に遡ります。入学して剣道部の稽古を見学し、剣道って面白そうだなと感じて剣道部の門を叩きました。入部して稽古を始めると、忽ち剣道の虜になり剣道漬けの高校生活を送りました。森田の九頭竜館で、故桑原先生の心身共に厳しい稽古の甲斐あって、高校二年時と三年時には、

全国高校総体（インターハイ）に団体戦メンバーとして出場することができました。又、個人戦では県剣道大会高校の部で優勝、続いて今立町で行われた練成大会でも優勝することができました。この高校時代に剣道で鍛えた心と体のお陰で、高校を卒業して就職した会社での火災事故では、九死に一生を得ることが出来ました。この時のことは、今も鮮明に覚えていますが、工場内で火災が発生し、私の衣服も火に包まれました。その時、私は何処に逃げれば身の安全を確保できるかを、考え判断しなければならぬ状況に陥りました。咄嗟に非常口から外に避難するのではなく、工場内にある濡れたポロ布がある箱に飛び込み、その布を身体に巻き付けて衣服の火を消そうという判断をし、その箱に飛び込むことで命拾いをしました。今も身体にはその時のやけどの跡が残っていますが、この時の確な判断と行動が出来たのは、剣道を修行していたお陰であると、剣道に心から感謝いたしております。

現在、会社を経営しておりますが、私自身の研修を兼ねて社員教育に「礼に始まり礼に終わる」剣道の精神を取り入れ、礼節や礼儀作法、躰の研修を実施しております。また、福井県剣道連盟や南条地区剣道連盟におきましても、日本古来の精神文化を継承する剣道の心を大切に、剣道を愛する方々や少年剣士が礼節を重んじ、元気で、やる気と勇気を持って生活していただけるようにしていきたいと思っております。また、今後、県剣道連盟として剣道をやることの素晴らしさを、県内外の一般の方々や青少年に発信していかなければならないと考えております。

県剣道連盟では、平成三十年開催予定の第七十三回国民体育大会（福井県大会）に向けた準備を進めることや法人化に向けた取り組みを進めるために、組織の活性化を図ることが急務となっております。会員の皆様方のお力無しでは、この大事を進めていくことは困難かと考えています。何とぞ、皆様のお力添えをいただき、微力ではありますが職務を全ういたしたいと存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。



世界一剣道教室

「工夫して楽しんで強くなる」

東京大学剣道部 小林監督に  
文武両道の秘訣を学ぶ

平成二十三年二月十一日(金・祝)  
於 フェニックスプラザ大ホール、藤島高校第一体育館

世界一レベルの技や心に触れても  
らおうと、平成十九年度から福井県  
剣道連盟が開催している「世界一剣  
道教室」。四回目の今回は、藤島高  
校出身で東京大学剣道部監督の小林  
知洋先生を講師に迎え、文武両道を  
実践していく大切さや秘訣を学びま  
した。

剣道愛好者だけでなく、広く一般

の方を対象に、武道の普及啓発と武  
道人口の拡大を図ることを目的に、  
午前中は、フェニックスプラザ大ホー  
ルで講演会を開催しました。会場に  
は、小中高校生や保護者を中心にお  
よそ九〇〇名が参加。開会式には県  
剣道連盟名誉会長の西川福井県知事  
も来賓として出席し、平成三十年に  
予定されている福井国体に向け、小  
林先生からもいろいろなことを学び、  
選手として活躍できるように頑張つて  
ほしいと激励しました。

小林先生は、「工夫して楽しんで  
強くなる東大の剣道」と題して、東  
大剣道部が強豪校相手に考え、工夫  
して勝利を収めている様子や東大生  
の勉強のやり方のコツ、文武両道の  
大切さなどを、映像やデータをまじ  
えてわかりやすく話していただきま  
した。

○守(先生に教えられたことを守る)、  
破(自分で工夫してみる)、離  
(新しい独自のものを生み出す)



のうち、「離」は難しいが、「守」  
と「破」を同時進行で行う。道場  
以外での練習、負けない試合方法  
の工夫など。

○広く浅くわかることから広げて  
いく。

○優先順位をつける。

○目標やライバルの設定が大事。

○思考力や判断力があることで無駄  
が省ける。

剣道にも勉強にも、両方に通じる  
心構えを学ぶことができました。

また、講演に先立ち、奈良から宝  
蔵院流槍術保存会による演武と小学  
生の体験が行われました。十文字型  
の槍が特徴の宝蔵院流槍術は、福井  
県出身で第五代最高裁判所長官、第  
二代全日本剣道連盟会長の故石田和

外先生が、その伝承に深く関わられ  
ていることもあり、今回、県教育委  
員会のご協力で、披露いただくこと  
になりました。

体験した小学生の皆さんは、剣道  
とは全く異なる構えや足さばぎに戸  
惑いながらも、長い槍を手に大きな  
声を出し、日本古来の武道の奥深さ  
を感じとっていました。

午後は、会場を藤島高校第一体育  
館に移し、中高生を対象に実技研修  
会を開催しました。中学生二五〇名、  
高校生一五〇名、計四〇〇名が参加  
し、広い体育館が参加者の熱気で埋  
め尽くされました。



高校時代から上段で活躍されている小林先生から、上段からの基本技や上段に対する攻め方をご教示いただきました。

実技指導には東京大学剣道部の三宅俊輔四段、古賀啓二四段、大林一貴四段の三氏も補助に加わり、熱心にご指導いただきました。

参加者のうち上段をとっているのは十名程度、その他の参加者はほとんど初めての上段とあって、左足での踏み込みや技を出したときの右手の位置など、小林先生からアドバイスをいただいています。

参加者からは、「普段教えてもらえないような技を学べてよかった」、「やったことのない上段をやって新鮮だった」、「講演会で聞いたことを実践していきたい」などの感想が寄せられ、参加した一人ひとりが、意識の変化、技術の上達を得られた「世界一剣道教室」でした。



試合結果

福井県中学校

冬季剣道強化錬成大会

平成二十三年一月二十九日(土)  
於 敦賀市立体育館

平成二十三年一月二十九日(土)、敦賀市立体育館において、男子三十校女子三十校で福井県中学校冬季剣道強化錬成大会が行われました。なお、本大会の上位二校は、五月に石川県で行われる若獅子旗大会に参加します。

▽男子団体

・ 準々決勝

三方中 3-0 越前中

成和中 2-0 今庄中

藤島中 2-1 春江中

明道中 3-1 武生一中

・ 準決勝

三方中 4-0 藤島中

成和中 2-0 明道中

・ 決勝

三方中 2-1 成和中

▽女子団体

・ 準々決勝

三方中 4-0 丸岡南中

藤島中 5-0 大東中

明倫中 2-1 森田中

鯖江中 5-0 南越中

・ 準決勝

三方中 2-2 明倫中

(内容勝ち)

藤島中 3-0 鯖江中

・ 決勝

三方中 4-0 藤島中



男子団体優勝 (三方中)



女子団体優勝 (三方中)

平成22年度 福井県高等学校

冬季剣道選手権大会

平成二十三年一月二十九日  
於 県立武道館

▽男子団体

優勝 啓新高校

二位 丸岡高校

三位 敦賀高校

三位 北陸高校





▽女子団体

- 優勝 美方高校
- 二位 啓新高校
- 三位 北陸高校
- 三位 福井高校



昨年度までは十一月の新人戦で行われていた全国選抜大会の予選を、この大会で行うことになりましたが、冬休み中の各学校の強化により非常にレベルの高い大会となりました。男子は啓新高校、女子は美方高校が優勝し、全国選抜大会への切符を手にしました。



第5回 福井県ジュニア

育成強化剣道大会

平成二十三年二月六日(日)  
於 県立武道館

本年二月六日(日)、福井県立武道館において、第五回福井県ジュニア育成強化剣道大会を開催しました。

▽一年生の部

- 優勝 安野 有香  
(福井東部少年剣道教室部)
- 準優勝 菱川 敬吾  
(豊剣道教室)
- 第三位 佐藤 心菜  
(敦賀市剣道スポーツ少年団)
- 栗本 大輝  
(武道学園剣道教室)



▽二年生の部

- 優勝 高地 大翔  
(五常館)
- 準優勝 中村 俊貴  
(吉川スポーツ少年団)
- 第三位 岡田佳志彦  
(木田スポーツ少年団)
- 中村翔太郎  
(鯖江志士樹館道場)



▽三年生の部

- 優勝 田崎 健斗  
(敦賀市剣道スポーツ少年団)
- 準優勝 保花 倭  
(福井養正館)
- 第三位 野村 駿  
(鯖江志士樹館道場)
- 岡田 俊介  
(春江少年剣道教室)

▽四年生男子の部

- 優勝 橋本 恭佑  
(丸岡剣道スポーツ少年団)
- 準優勝 川崎 叶也  
(豊剣道教室)
- 第三位 北島 正貴  
(吉川スポーツ少年団)
- 北 幹貴  
(武道学園剣道教室)



▽四年生女子の部



- 優勝 堤腰 琴奈  
(敦賀市剣道スポーツ少年団)
- 準優勝 貢 歩枝奈  
(今庄剣道スポーツ少年団)
- 第三位 池田二千花  
(向笠剣道スポーツ少年団)
- 山川 咲愛  
(敦賀市剣道スポーツ少年団)



▽五年生男子の部



- 優勝 前田 凱斗  
(鯖江剣道スポーツ少年団)
- 準優勝 上村 周平  
(鯖江志土樹館道場)
- 第三位 上村 哲平  
(鯖江志土樹館道場)
- 野阪 陸  
(福井少年剣道クラブ)

▽五年生女子の部

- 優勝 吉寄 月海  
(鯖江剣道スポーツ少年団)
- 準優勝 富田 葉月  
(鯖江泰成館道場)
- 第三位 小辻 朋未  
(武道学園剣道教室)
- 前田 咲  
(武道学園剣道教室)

▽六年生男子の部



- 優勝 馬淵 稜也  
(敦賀市剣道スポーツ少年団)
- 準優勝 刀称 隼人  
(木田スポーツ少年団)
- 第三位 道内 将誉



- (福井東部少年剣道教室)
- 三浦 義心  
(武道学園剣道教室)

▽六年生女子の部

- 優勝 小河 萌香  
(福井養正館)
- 準優勝 菅原 初音  
(越前少年剣道クラブ)
- 第三位 八幡 明依  
(武道学園剣道教室)
- 中山 知実  
(木田スポーツ少年団)



### 福井県ジュニア 育成強化稽古会の開催

同大会の試合において、各学年・各部門で入賞したベスト八までの選手（推薦選手若干名含む。）を中心に、毎月一回、福井県立武道館を会場に、本年三月から翌年一月までの十一回、ジュニア育成強化稽古会を開催します。

また、昨年からは、中体連との連携強化錬成会にも参加しています。指導には、福井県剣道連盟少年剣道専門委員会（十五名）の指導者が当たり、同会では、本年二月五日

（土）福井県立武道館において、技術力・指導力の向上及び年間を通して10一本化された指導方法について、研修会を実施しました。

同会の事業の方向としては、全国レベルの技量を目指し、選手の成長と発達に対応しながら、その可能性を最高度に引き出すために、少年剣道段階からの選手発掘、育成及び強化の統一した方針を策定しています。

最後に、稽古会の日程は、次のとおりです。会場等を変更する場合がありますので、ご確認の上、ご参加をお待ちしています。

〈連絡先〉

☎〇七七六―三六―三八六三

船田まで

#### 【日程】

- ・平成二十二年五月二十一日（土）  
時間 午後一時三十分～同四時  
場所 県立武道館
- ・平成二十二年六月二十五日（土）  
時間 午後一時三十分～同四時  
場所 県立武道館
- ・平成二十二年七月十六日（土）  
時間 午後一時三十分～同四時  
場所 県立武道館
- ・平成二十二年八月十三日（土）  
時間 午後一時三十分～同四時  
場所 県立武道館
- ・平成二十二年九月十日（土）  
時間 午後一時三十分～同四時  
場所 県立武道館
- ・平成二十二年十月十五日（土）  
時間 午後一時三十分～同四時  
場所 県立武道館
- ・平成二十二年十一月五日（土）  
時間 午後一時三十分～同四時  
場所 県立武道館
- ・平成二十二年十二月十日（土）  
時間 午後一時三十分～同四時  
場所 県立武道館
- ・平成二十三年一月十四日（土）  
時間 午後一時三十分～同四時  
場所 県立武道館

### 第59回全日本都道府県対抗 剣道優勝大会 福井県選考会結果

平成二十三年一月三十日（日）  
於 県立武道館

#### ▽先鋒の部

- 優勝 小出 鷹太（敦賀高）
- 第二位 内山田朋弥（福井高）
- 第三位 宮本 隆史（敦賀高）
- 大野 真央（美方高）

#### ▽次鋒の部

- 優勝 富田 成慈（福井工大）
- 第二位 金子 亮介（中京大）

第三位 川瀬 寛人

#### ▽五将の部

- 優勝 中村 好伸
- 第二位 脇本 一誠
- 第三位 鳥山 武俊
- 北村 禎彦

#### ▽中堅の部

- 優勝 相馬 友
- 第二位 西川 航平
- 第三位 宮本 徹也
- 中村 英紀

#### ▽三将の部

- 優勝 長谷川峻右
- 第二位 瀬尾 祐輝
- 第三位 鈴木 秀典
- 松ヶ平 隼

#### ▽副将の部

- 優勝 堤腰 一昭
- 第二位 山本 英俊
- 第三位 森岡 裕一
- 小林 和洋

#### ▽大将の部

- 優勝 西川 讓
- 第二位 柳原潤一郎
- 第三位 関 博之



### 剣道昇段審査 審査員研修会

平成二十三年三月二十一日(月)  
於 県立武道館

福井県剣道連盟副会長の相模利朗  
教士八段を講師として、標記の研修  
会が行われました。県内の剣道七段  
以上の方を対象に、昇段審査におけ  
る留意点を確認することを目的とし  
て開かれたもので、今回が初めての  
試みとなりました。

最初に、称号・段位審査規則をも  
とに、相模先生よりご指導いただき  
ました。六・七段審査での経験をも  
とに、審査をする者としての心構え  
や留意点を分かりやすくお話しした



いただきました。

次に県警機動隊員による模擬立ち  
会いを全員で見学し、審査基準のす  
り合わせを行いました。もちろん、  
判断は個々の審査員が経験則に基づ  
き行われるべきものであつて、はつ  
きりした正解があるわけではありま  
せん。しかし、このように意見交換  
をすることが、各自の判断基準をつ  
くる材料の一つとなります。「落ち  
着きなく技を出しすぎではないか。」「  
無難にこなしてはいたが、思いきつ  
た打突が見られなかった。」など、  
活発な討議がなされました。

その後、全員で稽古を行いました。  
七段剣士の充実した気力と熟練の技  
で、小道場は活気に包まれました。  
これだけのメンバーが一同に会して  
稽古ができたことも、今回の大きな  
収穫だったと思います。

最後の御高評のなかで、「審査員  
は審査を上からみてはいけません。  
審査をさせていただくことも大事な  
修行の一つです。」と相模先生がおつ  
しゃつた言葉が深く心に残りました。  
今回は、参加者全員が審査員とし  
ての責任の重さを再認識し、自分の  
剣道をさらに高めていく決意をする  
ことができた研修会となりました。  
ご指導いただいた相模先生、本当に  
ありがとうございました。

### 只、感謝の昇段

平成二十二年十一月二十日、東  
京で開催された居合道六・七段審  
査会において越前市剣道連盟の玉  
村伸治先生が七段に合格されまし  
た。居合道との出会い、七段を目  
指しての修行の日々、昇段審査…。  
居合道人人生をふりかえりながら七  
段への道のりを語っていたくださ  
ました。

「居合道との出会い、修行の思い出  
を教えてください。」



(玉村) 思い起  
こせば、四十歳  
にして始めて、  
福井県剣道連主権  
の居合道講習会

を受講し、後は手探りで稽古を重ね  
てたような次第ですが、大勢の方に  
お世話になりました。

特に初代居合道専門委員長だった  
藤本先生には、稽古のほか、何回も  
全日本居合道大会に引率され参加し、  
全国大のレベルの高さを実感させて  
頂きました。

地元武生の剣道連盟の中に、特に  
居合道に熱心な人が居て、毎週神山  
小学校で稽古会が続けられました。

解説書と首つ引きで「ああでもない、  
こうでもない」の繰り返し稽古で、  
お互いが交互に演武し、チェックし  
合いました。この稽古会が今まで途  
切れずに続いていて、武生の居合を  
支えています。

大野市剣道連盟の福野先生には、  
石川県小松市の教士八段土井先生へ  
の指導の道筋をつけていただきました。  
毎月のように、小松市の桜木町道場  
まで連れて行って頂きました。ここ  
では居合道の基礎からやり直してし  
た。平成十四年の暮れから出稽古に  
通い、お陰で十六年春に六段に合格  
できました。

「七段の昇段試験に臨むために、ど  
んな練習をされたのですか。」

(玉村) 六段合格後、近隣県の人と  
顔見知りも出来、凌雲館居合道富山  
大会などにも毎年参加するようにな  
りました。この大会には中部北陸の  
各県から選手が集まりミニ全国大会  
のようで、自分のレベルを計る尺度  
にもなりました。最初にこの大会へ  
の参加を誘ってくれたのが酒田さん  
でした。近年福井県からも毎年数名  
参加していて、今年度の大会では二  
段の部で中嶋道場から、福井県初の  
優勝者が出ました。私はこの大会で



は、六段の部で入賞はおろか、何の賞をいただけず、師匠の土井先生からは「今日のような、せわしい居合いを抜いてはだめだ」と、心の持ち方について、ご指導を受けました。その1週間後の七段審査に合格するなど考えられないことでした。

また、酒田さんと角さんが飛騨高山まで足を運び、十月末に開催してくれた「古橋先生居合道練成会」でも、礼法（座礼の角度）や斬り下ろしの左拳の収まり方など、いくつか指摘を受けました。

昇段審査当時の調子はいかがでしたか？

(玉村) 四回目の挑戦で合格できたのは、幸運としかいえません。審査

# みんなの広場

## 福井県庁剣道部

県庁剣道部は、県職員の剣道愛好者が集まって活動しており、現在三十七名（うち女性一名）が所属しています。部員の剣道歴は、七段保持者から初心者までと様々で、各々の

会本番では、自分でも信じられない位、すべての指摘事項が、アレヨアレヨと思う間にすんなり行くではありませんか。自分の体を居合いの神様が動かしているのではないか、思われる程でした。合格者発表の番号が本当か、何回もメモ紙に書いた自分の受験番号と見比べました。

ということ、まぐれの七段なので本物の七段になるべく、これからが腰を据えての稽古をせよということでしょう。自分の欠点は自分では見えにくいものです。独りよがりにならないよう気をつけて、稽古を重ねていく所存です。気の付いたことは、ドシドシ指摘下さり、今後もうぞ宜しく御指導ください。

—ありがとうございました。—

## 剣道部・クラブ紹介

レベルにあわせて剣道を楽しんでいます。

部員の勤務先や職種の幅が広く、平日に集まるのが難しいため、稽古は土曜日の週一回だけですが、限られた時間を有効に活用するため、基本技の修練を中心に、集中して稽古

古を行うよう心がけています。

数年前までは稽古の参加者が三、四名という時期もありましたが、現部長以下部員同士で積極的に稽古への参加を呼びかけ、現在では参加者が常時十名を超えるまでになっています。また、武道館や職域以外の方にも可能な限り参加をお願いしてご指導をいただいております。部員にとって大変刺激になっています。

例年、福井県剣道大会などの県内大会の他、全国の官公庁剣道大会に参加していますが、昨年は県剣道大会でベスト8、県実業団大会で三位の成績を残し、少しずつですが部員のレベルアップが図られていると感じています。

近年、新入部員が少なく、部員の



平均年齢が上がっていることが悩み的一种ですが、生涯スポーツとしての剣道を末長く楽しむことを目的に、部員一同それぞれが自分の目標を持ち、楽しく稽古していきたいと考えています。

### 【役員名】

部長 日下 博幸  
副部長 竹内 弘幸

監督 谷口 竜哉

主将 坂本裕一郎

事務局 東 正樹、西浦宗志郎

※平成二十三年三月三十一日現在

### 【活動日時】

毎週土曜日 十時から十二時

### 【活動場所】

県立武道館小道場

または他種目競技場

## 仁愛大学剣道部

仁愛大学剣道部は、現在男子三人、女子四人という少ない人数の中、一回一回の稽古に励んでいます。少ない人数ではありますが、その中でできることや少ない人数だからこそできることを自分たちで考え、一回一回の稽古を充実した時間にしようと心がけています。また勝ち負けにこだわるだけでなく、稽古を通して社会に通用する人間に成長することを目指しています。





主な稽古内容としては、素振り・基本稽古・地稽古・打ち込みです。地稽古では一本に対する執着心を生に着けるため、一本勝負や円稽古などをを行い、いかに自分の技を一本にできるか、一本にもって行くかを意識しながら取り組んでいます。

正直なところ、人数が少なく個人戦にしか出場できません。団体戦に出場するためにも人数集めから行わなければなりません。一人でも多くの人に声をかけて部員数を増やして行こうと考えています。これからも自分たちのペースで頑張っていくしますので、今後ともご指導のほどよろしく願います。

〈役員〉  
顧問 紺渡 弘幸

主将 川合 聡史  
主務 川合 聡史

〈活動場所〉  
仁愛大学体育館

〈活動日時〉  
毎週水曜日  
午後六時～午後八時半

〈年間行事〉  
五月 北信越学生剣道選手権大会

九月 北信越学生剣道優勝大会  
十一月 北信越学生剣道新人大会  
(川合 聡史 記)

**福井養正館**

当道場は、平成五年四月二十日「正義の心を養うこと」「人間としてふみ行うべき正しい道を養うこと」「知・徳・体の調和のとれた人間を育てること」を道場訓として設立されました。

当初より、一回でも稽古日を増やし剣道の稽古がしたいという熱意ある少年剣士が集まり稽古に励んでいます。今では、いろいろな地域の少年剣士が当館で稽古を行っており、また、市外・県外への出稽古も積極的にを行い、いろいろな方と剣を交え交流を深めております。これからも剣道人口の底辺拡大とレベルアップ、そして剣道の修練を通じ、日本国を

背負って立てる日本人を育てて参りたいと思っております。

館長 堤腰 昭  
副館長 堤腰 一昭  
指導者 竹田 康弘、岩谷 治彦  
北村 禎彦、江南 梓  
堤腰まゆみ

〈稽古日〉

毎週火曜日 二十時～二十一時  
敦賀市武道館(中学生対象)  
毎週木曜日  
十九時～二十時四十五分  
敦賀市立成新小学校(全学年対象)  
毎週土曜日  
十八時三十分～二十時四十分  
日本原子力開発機構  
ひばりヶ丘体育館(全学年対象)



体育器具・スポーツ用品、全般



代表取締役 北野 修一

本店 福井県あわら市大溝3丁目5番19

三国支店 福井県坂井市三国町南本町2丁目4の23

TEL (0776) 73-0277

FAX (0776) 73-0354

携帯 090-2836-7926

FAX (0776) 82-4625

E-mail: kanazusp@mx4.fctv.ne.jp

### 三国少年剣道教室

三国少年剣道教室は年間を通して、三国剣道連盟が小学生剣士を初心者・初級者、中級者・上級者に分けて、毎週月曜日から木曜日までの週四日間、指導に当たっています。

当教室では、「剣道を通して礼儀作法を身につけること」、「我慢ができる子供を育てること」を運営方針とし、小学生の間は、試合の勝ち負けにとらわれず、剣道の基本を徹底的に身につけ、生涯剣道を続けられる「剣道の基礎」を体得できるように指導に当たっています。

また、毎年、七月に一泊二日の夏合宿、冬の大寒時に一週間(七日間)



連続して稽古(寒稽古)を行い、さらに全員参加しての楽しいレクリエーションも行い、厳しく、楽しく活動し、学年、学域を超えた「絆」を育んでいます。

毎月一回、三国地区内の中学生、高校生、三国剣道連盟会員による合同稽古会を開催し、地区内の剣道のレベルアップを図るとともに、コミュニケーションも取りながら、次代の三国剣道の礎を築いています。

代表 高野 治重

指導者 福嶋 俊栄・室谷 信次

寺木 勇人

事務局 志尾 武章

○稽古日・時間、稽古場所

稽古日・時間

(初心・初級)

毎週火・木 十九時から二十時

(中級・上級)

毎週月・水・木

十九時から二十時三十分

稽古場所

三国体育館(月、水、木)

三国中学校(火)

### 高浜町立高浜中学校

本校は、美しい海と『若狭富士』と呼ばれる青葉山がそびえる自然豊かな場所に立地している学校です。



今年度、学校教育目標を「夢実現、人と人とのつながりを通して」とし、「知」・「徳」・「体」の調和のとれた生徒の育成を目指して日々の教育活動を行っています。部活動もその教育活動の一つとしてとらえ活動しています。

本校剣道部は、一年生男子八名、二年生男子三名女子一名の計十一名で、平日四回、土曜日一回活動しています。

生徒には、常に感謝の気持ちを忘れずに活動することを指導しています。活動する場所があること、家族の協力があること、切磋琢磨できる仲間がいること、人間だれしも恵ま

れた環境にいるとそのことを忘れがちです。しかし、毎日当たり前のようにして剣道ができるのはそういった環境が整っているからです。それらに感謝の気持ちを持ち、剣道に打ち込んでほしいと考えています。

また、本校部員十一名のうち、十名は中学校から剣道を始めました。先日行われた昇段審査では、二名の生徒が合格させられました。毎年数名の生徒が初段に合格することは、中学校から剣道を始めた生徒にとっては大きな励みになっています。顧問共々、剣道の技術力の向上はもちろんのこと、地域を支える人になれるよう自分自身を磨いていきたいと考えています。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。

### 角鹿中学校剣道部

本校は、昭和三十四年四月、気比中学校に敦賀第三中学校として併設されました。翌昭和三十五年四月、現在の地に移転し、角鹿中学校と改称、現在に至っています。特色ある生徒会活動の伝統を持つ学校です。

現在剣道部は男子三名、女子六名、合計九名で活動しています。全員が二年生の若いチームです。小学校からの経験者と中学校から始めた初心

者が半々で、当初は技量の差も大きく別々に稽古した時期もありましたが、一年間の積み重ねによって実力も接近し、励まし合いながら共通の目標に向かって稽古に励んでいます。

女子チームは、昨夏の県大会でベスト8に入る健闘を見せました。今年度はそれ以上を目指していきたいと思っています。男子チームは、まず試合で一本がとれるよう基本を大切に頑張っています。

体育館での稽古は週四回、一回が一時間〜一時間半程度しかできませんが、短い時間で集中し、充実した稽古になるよう努力しています。



また、「相手があってこそその剣道」という観点から、感謝と思いやりを常に意識の中に持って生活していけるような心がけています。稽古で身につけたことを、剣道の場面だけでなく、学校や家庭といった生活全体で発揮して欲しいと願っています。

今後とも保護者の皆様をはじめ、支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、日々稽古に励み、技と心身を磨いていきたいと思っておりますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

### 丸岡南中学校剣道部

丸岡南中学校は、平成十八年四月に全国屈指のマンモス校であった丸岡中学校から分離新設された学校で、今年で開校六年目になります。周囲を田園に囲まれ、穏やかな雰囲気の中で毎日教育活動を行っています。

剣道部は、開校当時から活動し、校内にある立派な道場の高心館で毎日頑張つて稽古に励んでいます。現在部員は、一年生を含め男子七名、女子十五名の計二十二名です。ほとんどが中学校から始めた初心者であるため、まだまだ未熟な面が多くあります。しかし、全員が心身ともに強くなりたいという強い気持ちを持っており、厳しい稽古に毎日弱音を吐



### 福井農林高等学校剣道部

#### 感謝と思いやりを忘れず

本校の剣道部は、男女とも少人数で、それぞれが5名も満たしていません。こんな大変苦しい状況ですが、部員は毎日、明るく元気に活動しています。

剣道部に入部してくる生徒は、中学校時代の経験者が多いですが、何名かは高校から剣道を始める生徒もいます。このような場合には、全体練習後、経験者が居残り教えてくれています。これは顧問から指示したわけではないのですが、何年も前

かずに励んでいます。

道場訓は「百錬自得」です。「錬ること百にして自ずから得る」ということで、何度も同じ稽古を繰り返すことで、自分のものにしていくという意味です。日頃の稽古では、その道場訓を胸に一人一人が稽古に取り組んでいます。

今後とも保護者の皆様を始め、支えてくださる多くの方々への感謝の気持ち忘れず、剣道だけではなく人間としての成長を目指して精進していきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。





から続いています。

ことあるごとに生徒に話していることがあります。「剣道というスポーツをする前に、高校生として毎日登校できることに感謝しよう。家族の支えがあつてこそ今の自分が居ることを見つめ直し感謝しよう。部活とはクラス、学年を超えて集まつた同じ志を持つ人間の集まり。だからこそ気配り思いやりを忘れずに毎日を過ごそう。」と言っています。その言葉の表現の一つが、技術が追いついてない部員を教える気持ちと、はやく追いつかなければと頑張る気持ちとの双方の思いやりだと考えています。

**福井工業大学附属福井高等学校**

福井工業大学附属福井高等学校剣道部は、昭和二十三年に本校創立と同時に創部され、六十三年の歴史を持ちます。

現在、三年生七名、二年生六名が「交剣知愛」の部訓のもと、和をもつて部員自らが率先して励み取り組む活気ある剣道部です。四月には、現部員十三名に加え新入生十二名が入部し益々活気のある部になりました。単に、試合での勝ち負けや技術的力量を求めるのではなく、剣道の起源である「武士の精神」を学ぶ手段と



して、剣道の理念である『剣の理法の修練による人間形成の道である』ことを念頭におき日々の修養に努めています。

目標は、次代に継承できる剣道家。また、世の中に貢献できる社会人に成長することです。

そして何より、わが剣道部の魅力は、個性溢れる部員全員が「和」と「明るさ」で伸び伸び剣道に、稽古に励むところであり、更に「日本一元気な剣道部」を目指していきます。  
http://www.fukui-ut-fukui-h.ed.jp/club/kendou/

**剣道 称号段位合格者**

**剣道段位審査会**

平成二十三年二月十三日(日)

於 越前市武道館

「初段」 二十一名

- 鈴木健祐(鯖江中)
- 土田真緒(鯖江中)
- 橋本一峰(会社員)
- 下村紗世(南越中)
- 大谷知弘(小浜中)
- 山崎 柁(東陽中)
- 大西浩輝(高浜中)
- 鰻田圭介(高浜中)
- 寺山雅也(武一中)
- 松本男樹(三方中)
- 小濱靖子(芦原中)
- 斉藤達也(坂井中)
- 染橋祐介(坂井中)
- 岩崎 航(春工高)
- 田中美咲季(足一中)
- 谷水佑衣(足一中)
- 前川尚澄(成和中)
- 長谷川泰佑(永平寺中)

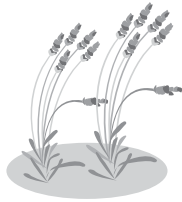
「貳段」 十四名

- 上田健斗(松岡中)
- 高橋正宗(科技高)
- 潮木雅大(成和中)

- 石田将大(大東中)
- 関根健太(敦賀高)
- 鹿野正之(福井高)
- 坂本紳悟(北陸高)
- 窪田英晃(敦賀高)
- 藤井祐希(敦賀高)
- 土田克哉(敦賀高)
- 伊藤正紘(三国高)
- 吉田裕孝(会社員)
- 高嶋夏妃(中央中)
- 川島美幸(美方高)
- 青木苑実(美方高)
- 島田佳栄(岐阜大)
- 佐々木広美(会社員)

「参段」 十四名

- 吉村典恵(看護師)
- 能美裕樹(会社員)
- 豊島菜摘(星稜大)
- 刀称健悟(啓新高)
- 西井 淳(丸岡高)



「五段」 三名

高間 昭彦 (教員)  
 松ヶ平 隼 (警察官)  
 中村 好伸 (刑務官)

「四段」 四名

澤田 ともみ (会社員)  
 相馬 いづみ (教員)  
 長澤 いづみ (教員)  
 横山 文彦 (福工大)

北村 瑞季 (武生高)  
 山崎 貴絵 (北陸高)  
 新田 康平 (美方高)  
 二本松 佑樹 (美方高)  
 中西 規泰 (美方高)  
 玉村 仁美 (福井高)  
 中嶋 佑昌 (北陸高)  
 松田 真緒 (敦賀高)  
 増田 貴彦 (北陸高)

# 坂井地区剣道連盟

会 長	吉 川	文 行
副 会 長	月 間	孝 勇
副 会 長	上 杉	弘 重
副 会 長	紫 田	忠 治
副 会 長	高 野	明 人
副 会 長	佐々木	透
副 会 長	宮 川	

# ペンリレー 女性剣士の部屋

## 私と剣道

谷口 典子

剣道を始めたのは、祖父（正儀）の剣道着姿に一目惚れをしたことがきっかけでした。以前習っていたピアノを辞め、稽古に励みました。打たれて痛かったということもなく、その頃は何て楽しいものだろうと思っていました。

中学・高校を終え、大学では毎日が地獄の連続で、何度も剣道を辞めようと思いましたが。しかし、恩師に相談したり、周りの人から温かい励ましをいただいたりし、剣道を頑張つて続けることにしました。今は、祖父と一緒に子供達との週三回の練習で汗を流しています。

今の子供は少しひ弱な所が見受けられます。心身ともに強くなれるように、私が指導していただいたことを少しでも伝えたいと思います。そして、自身も子供達と一緒に成長していきたいと思



## 平成23年5月～平成23年7月 事業計画

期日	曜日	事業名	場所	開催者	備考	
5 / 1～2	日～月	剣道 八段審査会	京都市	全剣連	午前9:00から	
2～5	月～木	第107回全日本剣道演武大会	京都市	全剣連		
3	火(祝日)	居合 八段審査会	京都市	全剣連		
3	火(祝日)	居合 称号(範士・教士・錬士)審査会	京都市	全剣連		
6	金	居合 称号(範士・教士・錬士)審査会	京都市	全剣連		
7	土	常任理事会(Am10:.)・審議委員会(Pm13:.)	県武道館	県剣連		
8	日	剣道段位審査会	県武道館	県剣連		
14	土	剣道 七段審査会	名古屋	全剣連		
14	土	第1回北信越学生剣道連盟理事会	県武道館	工大		
14～15	土～日	第16回女子審判講習会	兵庫県	全剣連		
15	日	第53回北信越学生剣道選手権大会	県武道館	工大		
15	日	剣道 六段審査会	名古屋	全剣連		
18～22	水～日	第49回中堅剣士講習会	奈良市	全剣連		
21	土	北信越合同稽古会	新潟県			
22	日	国体最終選考会	県武道館	県剣連	午前9:00(半日)小道場	
29	日	理事会・評議委員会	福井市	県剣連		
6 / 3	金	居合 六・七段審査会	東京都	全剣連	午後13:00(半日)	
3～5	金～日	県高校春季総体	県武道館	県高体連		
4～5	土～日	居合 地区講習会	東京都	全剣連		
12	日	第3回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会・合同稽古会	県武道館	県剣連		
12	日	県中学校剣道強化校錬成大会	若狭町	県中体連		三方体育館
18～19	土～日	北信越高校剣道大会	石川県	北信越高体連		午前10:00から
26	日	福井県知事杯・福井県剣道選手権大会	勝山市	県剣連		
7 / 3	日	剣道形講習会	中郷体育館	県剣連	午前9:00から 午前9:00から 午前9:00から	
8	金	居合 六・七段審査会	福岡県	全剣連		
16	土	第3回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	東京都	全剣連		
17	日	剣道指導者講習会・合同稽古会	県武道館	県剣連		
17	日	居合道講習会・居合道段位審査会	県武道館	県剣連		
18	月(祝日)	第45回少年剣道錬成大会	県武道館	県剣連		
23～24	土～日	県中学校夏季競技大会 剣道競技	県武道館	県中体連		
23～24	土～日	平成23年度全日本少年武道錬成大会	東京都	全剣連共催		
30	土	県民スポーツ祭(高校)	県武道館	県剣連共催		午前8:00から
31	日	県民スポーツ祭(一般)	県武道館	県剣連共催		午前8:00から

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎  
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL (0776)28-6616



### 平成23年5月～平成24年3月 事業計画

期日	曜日	事業名	場所	開催者	備考
5 / 1～2 2～3 3～4 4～5 5～6 6～7 7～8 8～9 14～15 15～16 18～19 19～20 20～21 21～22 22～23 23～24	日(祝日) 月(祝日) 火(祝日) 水(祝日) 木(祝日) 金(祝日) 土(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	八段審査会 第107回全日本剣道演武大会 居合 八段審査会 居合 称号(範士・教士・錬士)審査会 常任理事会(Am10:)-審議委員会(Pm13:) 剣道七段審査会 剣道連盟理事会 第16回女子審判講習会 第53回北信越学生剣道選手権大会 剣道六段審査会 第49回中堅剣士講習会 北信越合同稽古会 国体最終選考会 理事会・評議員会	京都市 京都市 京都市 京都市 京都府 京都府 京都府 兵庫県 兵庫県 京都府 奈良市 新潟県 福井市	全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	午前9:00から 午前9:00から 午前9:00から 午前9:00から 午前9:00から 午前9:00から 午前9:00から 午前9:00(半日)小道場
6 / 3～5 4～5 12 12 18～19 19～20	金(祝日) 土(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	居合 六・七段審査会 居合 地区講習会 第3回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 勝大会県予選会・合同稽古会 県中学校剣道強化校錬成大会 北信越高校剣道大会 福井県知事杯・福井県剣道選手権大会	東京都 東京都 東京都 東京都 若狭町 石川県 勝山市	全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	午後13:00(半日) 三方体育館 午前10:00から
7 / 3 8 16 17 17 17 18 23～24 23～24 30 31	日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	剣道形講習会 居合 六・七段審査会 第3回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 剣道指導者講習会・合同稽古会 居合道講習会・居合道段位審査会 第45回少年剣道錬成大会 剣道競技 県中学校夏季競技大会 平成23年度全日本少年武道錬成大会 県民スポーツ祭(高校) 県民スポーツ祭(一般)	中郷体育館 福岡県 東京都 京都府 京都府 京都府 東京都 東京都 東京都 京都市	全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	午前9:00から 午前9:00から 午前9:00から 午前9:00から 午前9:00から 午前8:00から 午前8:00から
8 / 3～4 6 9～12 14 20 21 21 21 23～25 27 28 28	水(祝日) 土(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	第32回北信越中学校剣道大会 第53回全国教職員剣道大会 第58回全国高等学校剣道大会 第44回奥越剣道大会 剣道六段審査会 第24回福井県居合道大会 剣道段位審査会 第41回全国中学剣道大会 剣道七段審査会 剣道六段審査会 北信越国民体育大会 第40回福井県少年少女剣道錬成武生大会	富山県砺波市 福井市 青森県 大野市 石川県 石川県・神奈川 石川県 中郷体育館 加古川市 福岡県 福岡県 石川県 越前市	北信越中体連 全学剣連 全学剣連 全学剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	弘前市 多様目 午前9:00から
9 / 10～11 10 11 18 18 18 23 25 25	土(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	第38回居合道中央講習会 北信越合同稽古会 審判法講習会(全剣連) 第59回福井県剣道大会(一般) 第57回全日本東西対抗剣道大会 第6回全日本都道府県対抗少年優勝大会 第59回福井県剣道大会(中学生) 第50回全日本女子剣道選手権大会 居合道伝達講習会	京都市 石川県 京都府 京都府 山形県 大阪府 京都府 兵庫県 越前市	全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	午前9:00から 午前8:00から 午前9:00から 午前8:00から 9:00～16:00
10 / 2～4 2 8 9～10 15～18 22 29 30	日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	国民体育大会 剣道形講習会 常任理事会 近県中学生剣道錬成大会 第24回ねんりんピック剣道交流大会 第46回全日本居合道大会 県中学校秋季新人競技大会 剣道競技 剣道指導者講習会・合同稽古会	下関市 京都府 京都府 京都府 熊本県 愛媛県 敦賀市 敦賀市	日体協 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	午前9:00から 午後10:00から 中郷体育館 敦賀市武道館
11 / 3 3 6 12 13 13 19 19 20 19～20 22～23 23 23 24 25	木(祝日) 木(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	第59回全日本剣道選手権大会 第42回嶺南剣道大会 福井県実業団剣道大会 剣道・居合道「教士」筆記試験 県中学校秋季強化練習会 第3回全日本スポーツ少年団剣道交流大会福井県予選会 居合道六・七段審査会 剣道七段審査会 剣道六段審査会 県高校新人戦(都道府県高校男子一次予選会) 剣道八段審査会 剣道段位審査会 第30回少年剣道教員大会 剣道六段審査会 剣道七段審査会	東京都 運動公園体育館 京都府 京都府 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都	全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	今庄中学校 午前9:00から 敦賀市
12 / 10 10 11 11 25	土(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	北信越合同稽古会 武道レベルアップ研修会 剣道形講習会 第14回宮川旗中学校選抜剣道大会 第2回福井県少年剣道強化錬成会	富山県 京都府 越前市 敦賀市 敦賀市	全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	敦賀高校体育館
1 / 3 8 28 28 29	日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	越前市新春奉納試し切り会・初稽古 剣道・居合道初稽古 高校冬季選手権大会兼全国選抜大会最終予選会 県中学校剣道冬季強化大会 全国都道府県大会県選考会	越前市 京都府 京都府 敦賀市 京都市	全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	午後14:00(半日) 運動公園体育館 午前9:00から
2 / 4～5 4 5 11 19 26	土(祝日) 土(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	北信越高校剣道新人大会 少年剣道指導者講習会 第6回福井県ジュニア育成強化剣道大会 世界一剣道教室 剣道段位審査会 居合道合同稽古会	富山県 京都府 京都府 京都府 越前市 越前市	北信越高体連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	庄川体育センター 午前9:00から 午前9:00から
3 / 3 11 18 25 27～28	土(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日) 日(祝日)	常任理事会(Am10:)-審議委員会(Pm13:) 国体指定選手選考会 理事会・評議員会 第34回全日本スポーツ少年団剣道交流大会 段位審査会審査員等研修会 第21回全国高校剣道選抜大会	京都府 京都府 福井市 山梨県 京都府 春日井市	全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連 全剣連	敦賀市 敦賀市 敦賀市 日体協 京都府 全剣連

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎  
メールアドレス [fkikendo@herb.ocn.ne.jp](mailto:fkikendo@herb.ocn.ne.jp) TEL (0776)28-6616